

皆さんこんにちは。私は今ニュージーランドの北島にあるワンガヌイという町に留学しています。今月で10か月の留学の半分が終わりました。今回のレポートではこの5か月で気づいたことを共有したいと思います。今後、留学を視野に入れている方にも届きますように。

〈留学で大変なこと〉

多くの日本人留学生は英語力を伸ばすことを目的に留学すると思います。私もこの留学の目的の9割は英語力を伸ばし、近い未来の話ですが希望する大学に行くことです。そのため今までは英語力を伸ばすことのみに意識を置いていました。実際留学生活で私の英語力は伸びていると思います。しかし今の留学生活で障害となっているのは言語の壁ではなく人間関係の難しさや文化の違いです。人間関係については、特にホストファミリーとの関係が難しいです。ファミリーといっても他人なので毎日気を使って生きたり、実際の子供との態度の差を横目で感じたり、いい子を装って発言を考えたりしています。これは私特有かもしれませんが本当の自分を見せていた家族や友達や先生がいなくなり、ここ5か月間ずっと作った自分で生きてきたので孤独感を感じます。文化の違いに関しては一言でいうと、ここでの生活は暇です。学校は小さいイベントが1年に2つぐらいで放課後もあまり遊びに行けません。どこに行くにしても車が必要なので週に1度もしくは2週間に1度外出します。逆に学校で宿題はありませんし、怒られたり注意されたりもしません。良いことも悪いこともないので日本にいたときより一日が薄く終わってしまう感覚があり、この1年を有意義に過ごせていない感じが不安です。英語力は日本にいても伸ばせますがこの2つの点は留学でしか感じないことだと思います。人間関係を築く力と文化や生活の違いを受け入れる力は今後英語力よりも必要だと思います。

〈ニュージーランドの特徴〉

ニュージーランドには様々な国籍の人がいます。例えば私の学校には40種類以上の国籍の生徒がいます。またニュージーランドの先住民族のマオリの人々や文化も尊重しているので異文化理解力が高い国だと思います。そのため私がここに来た時にも私自身や日本の文化を否定されることは一切ありませんでした。そこは日本人が見習うべきニュージーランドの良いところだと思います。また私は英語を学びに来ましたが友達の影響で中国語、ドイツ語、ポルトガル語、インド語、タガログ語などの基本や雰囲気を感じ取れるようになりました。また国ごとの人間性などの違いも肌で感じられるのでニュージーランドは留学にとっても適している国だと思います。

私の留学生活は思っていた何倍も辛くて孤独です。できることなら今すぐにでも帰国して好きなように過ごしたいですが、この10か月は私の人生には欠かせない10か月になると確信しています。これから留学を考えている方に“覚悟は必要ですが長期留学は絶対に自分自身を強くする”と伝えたいです。